

衛星データ活用アワード2025-2026
NEDO Challenge, Satellite Data
-農林水産業を衛星データでアップデート！-

- 宇宙技術の力で農林水産業の未来を切り拓き共創する -

応募要項

2025年8月

衛星データ活用アワード2025-2026実行委員会

目次

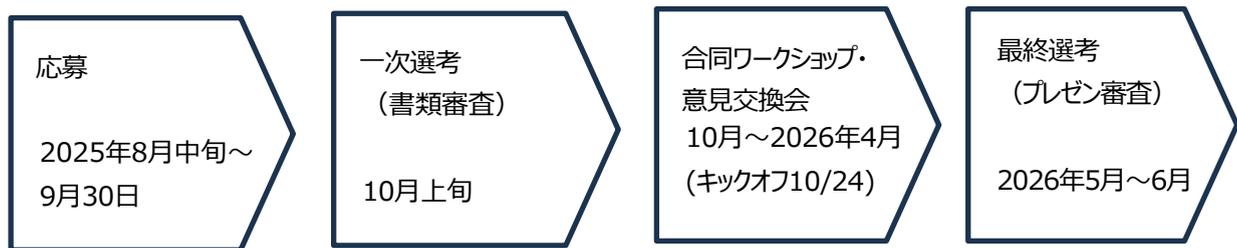
1 衛星データ活用アワード趣旨	2
2 運営体制.....	2
3 応募について	3
(1) 応募の流れ	3
(2) 応募期間	3
(3) 応募資格	4
(4) 応募テーマ.....	4
(5) 応募方法	6
4 選考プロセス.....	7
5 審査について	8
6 授賞	8
7 その他の留意事項.....	9

1 衛星データ活用アワード趣旨

衛星データ活用アワードは、NEDO懸賞金活用型プログラム「NEDO Challenge, Satellite Data –農林水産業を衛星データでアップデート！-」と連携した衛星データ活用プログラムです。

本プログラムは協賛企業の協力により実行委員会を組成し、「NEDO懸賞金活用型プログラム」と独立したコンテストを実施します。事業化を目指す企業、個人、学生、異業種等から、幅広く応募を募り、農林水産分野の課題解決につながるビジネスアイデアを募集します。

優れた提案には、協賛企業により表彰および賞金を授与します。宇宙業界関係者に留まらず、広くビジネスアイデアを募集しますので、企業、個人、学生、異業種等の積極的な参加を期待します。



本事業のプロセス（予定）

2 運営体制

衛星データ活用アワード2025-2026は、「衛星データ活用アワード2025-2026実行委員会」により主催・運営されています。

「衛星データ活用アワード2025-2026実行委員会」は、宇宙サービスイノベーションラボ事業共同組合(SSIL)及び以下の協賛企業により構成されています。

- 農林中央金庫
 - 調整中
- (協賛企業募集中)

主催・運営： 衛星データ活用アワード2025-2026実行委員会

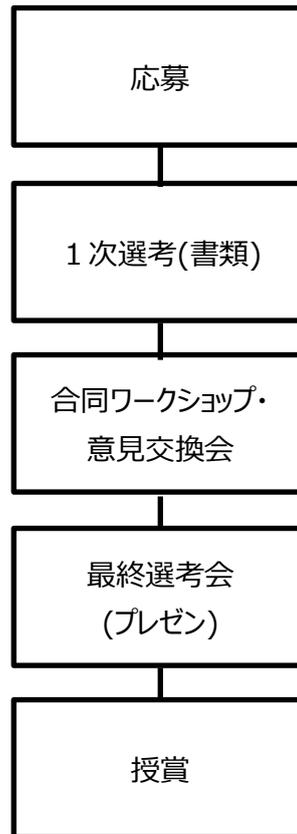
協力： 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

3 応募について

(1) 応募の流れ

衛星データを活用したビジネスアイデアを応募後、1次選考（書類審査）を経て、合同ワークショップや協賛企業および専門家等との意見交換を通じ、提案のブラッシュアップを図ります。

最終選考会ではブラッシュアップされたビジネスアイデアを協賛企業等に対して発表し、優秀なアイデアには賞が授与されます。授賞式においては、その後の事業化に向けた取り組みのためのビジネスマッチングの機会が提供されます。アイデアのご応募から授賞までの流れは以下の通りです。



(2) 応募期間

2025年8月中旬～2025年9月30日（火）正午（予定）

(3) 応募資格

法人・個人・グループを問わず応募することが可能であり、大企業やスタートアップ、上場/非上場の別は問いません。ただし、日本国に籍を有する個人、グループおよび日本国の法人格を有する民間企業、大学・公的研究機関等であることとします。（なお、未成年の方は、成年の方とのグループでの参加をお願いします。）

また、「衛星データ活用アワード2025-2026実行委員会」と同一の企業・団体に属している者は提案代表者および参加構成メンバーにはなれません。

【注意事項】

- 反社会的勢力である者、反社会的勢力との間に過去・現在又は直接・間接を問わず、取引、金銭の支払い、便宜の供与その他一切の関係又は交流がある者、また、反社会的勢力に属する者又は反社会的勢力との交流を持っている者が役員に選任され、従業員として雇用され又は経営に関与している事実がある者は、応募することができません。
- 機関投資家等から資金調達を行っている場合であっても応募が可能です。
- NEDO Challenge, Satellite Data -農林水産業を衛星データでアップデート！-応募者も応募が可能です。
- 明らかに事業化を目指す意思がないビジネスアイデアの応募は選考対象外となります。
- 上記に関わらず、当実行委員会が不適切と認めた応募者については、実行委員会の判断により応募資格取り消しとさせていただきます。

(4) 応募テーマ

応募テーマは協賛企業テーマとNEDO Challenge共通テーマがあります。協賛企業テーマや詳細については、公式サイトもご確認ください。

公式サイトURL : <https://space-data-challenge.nedo.go.jp/#theme>

協賛企業テーマ

農林中央金庫	農林水産業の「稼ぐ力」や持続可能で「強靱な食料システム」の実現に向けたアイデア
--------	---

NEDO Challenge共通テーマ

テーマ1	生産現場の課題解決に資する事業アイデア
テーマ2	資源の管理・監視および物流の高度化に資する事業アイデア

【テーマの詳細】

協賛企業テーマ

- 農林中央金庫：農林水産業の「稼ぐ力」や持続可能で「強靱な食料システム」の実現に向けたアイデア

農林中央金庫は、「持てるすべてを『いのち』に向けて。～ステーキホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」というパーパスのもと、食と農の未来を支える挑戦を続けています。

今、日本の農林水産業は、気候変動、担い手不足、食料安全保障など、多くの課題に直面しています。しかし、私たちは、宇宙技術がもたらす新たな視点と先進的な技術が、これらの課題を乗り越える力があると信じています。

この可能性を現実に変えるために、私たちは「衛星データ活用アワード 2025-2026」にプラチナスponsorとして参画します。皆様から革新的なアイデアを募り、異業種・異分野の知見を結集し、その価値を JA グループとともに“共創”することで、未来の食と農をともに築いていきたいと考えております。

➤ 応募例

- 衛星画像とAI解析を活用し、生育状況や病害虫・水不足などの異常を早期発見し、迅速に対処することで収益性を向上させる
- 衛星データとAIによる高精度な収穫量や市場需要の予測で、最適な生産・出荷計画を実現させる
- 衛星データやドローン、IoT機器等と連携し、施肥・散水・収穫作業の自動化を促進することで生産にかかるコストを削減させる
- 衛星収穫予測連動型農林水産業サプライチェーン信用保証・ファクタリング制度の構築
- 衛星画像とAIやIoTの統合により、災害や需要変動に強い自律的生産・物流体制を実現する
- 宇宙通信ネットワークで流通経路をリアルタイム監視し、農林水産物の品質管理を強化する
- 衛星データとAIで様々なリスクを予測し、生産・在庫・物流を自律的に調整する
- 衛星データを活用した地域農地・森林価値評価担保ローンの推進を目指す

NEDO Challenge共通テーマ

- テーマ1：生産現場の課題解決に資する事業アイデア

➤ 衛星データ等を活用した農業・林業・水産業の生産現場の課題解決に資する事業アイデアを募集します

➤ 応募例

- スマート農林水産業の実現に向けた事業アイデア（農機・林業機材・漁船の自動化、スマート灌漑管理システム等）
- 持続的な農山漁村の維持・向上に向けた基盤整備に資する事業アイデア（水路・林道等の生産現場のインフラ整備などの土木分野や防災分野での衛星活用技術等）
- 食料安全保障の実現に向けた生産性向上に資する事業アイデア（土壌・生育予測、漁場予測、病害検知、鳥獣害対策等）
- 生産活動や供給能力の安定化に資する事業アイデア（異常気象や気候変動対策等）
- その他生産現場の課題解決に直結する事業アイデア（栽培適地判定や技術継承、担い手不足等）

- テーマ2：資源の管理・監視および物流の高度化に資する事業アイデア
-

- 衛星データ等を活用した農業・林業・水産業の資源管理・監視の高度化に資する事業アイデアを募ります
- 衛星データ等を活用した農業・林業・水産業における国内外のサプライチェーンや輸出入等を含む物流の高度化に資する事業アイデアを募ります
- 応募例（管理・監視）
 - ・ 自治体等が実施する現地確認業務や統計情報の作成の効率化に資する事業アイデア
 - ・ 農林水産資源の把握・管理・監視業務の効率化に資する事業アイデア
 - ・ 違法伐採、違法漁船、違法転用の監視業務の効率化に資する事業アイデア
 - ・ 農林水産分野における各種交付金支払い業務の効果測定業務に資する事業アイデア
 - ・ 海外の穀物主要生産地帯や木材の主要生産地帯の広域モニタリング
 - ・ その他、農業・林業・水産業の資源管理・監視の高度化に資する事業アイデア
- 応募例（物流）
 - ・ 食料価格の安定化に資する価格予測事業アイデア
 - ・ 木材のトレーサビリティの追跡技術の構築による産地証明事業アイデア
 - ・ IUU漁業に対処するための漁獲物の産地証明事業アイデア
 - ・ 輸入計画の最適化に向けた国内の需要予測事業アイデア
 - ・ 漁獲物の販売価格の最大化に向けた最適な卸売市場の提案事業アイデア
 - ・ その他、農林水産業における国内外のサプライチェーンや輸出入等を含む物流の高度化に資する事業アイデア

【応募の補足】

- ・ 共通テーマへの応募は提案内容に応じて、いずれか1つを選択してください。
- ・ 1つの提案で協賛企業テーマと共通テーマ1つへの応募が可能です。
例) 協賛企業テーマと共通テーマ1への応募、協賛企業テーマと共通テーマ2への応募
- ・ 複数提案することによりそれぞれの共通テーマへ応募することもできますが、各テーマへの応募数は1つまでとします。
例) 提案1:「協賛企業テーマと共通テーマ1」、提案2:「共通テーマ2」として応募は可能。
- ・ 提案は、既の実証されているものに限らず、将来実現すべき技術等を用いたものでも構いません。
- ・ テーマを提示した協賛企業からビジネスアイデアに対する支援を確約するものではありません。

(5) 応募方法

公式サイトから必要な書類[（様式1）提案書]をダウンロードし、必ず受付期間内に公式サイト上の応募フォームよりご提出ください。指定された様式、期間以外でのご応募は認められません。

【提出書類】

- ・ [（様式1）提案書]
- ・ 提出書類は、公式サイトよりダウンロードしてください。
- ・ 公式サイトURL: <https://space-data-challenge.nedo.go.jp/#application>

【提出先】

- 公式サイト上の申込み受付フォームへご提出ください。
- 公式サイトURL: <https://space-data-challenge.nedo.go.jp/#application>

4 選考プロセス

応募アイデアは、書類審査による1次選考、プレゼンテーション審査による最終選考を行います。1次選考を通過された応募者に対しては、協賛企業および専門家等による意見交換を受ける機会を提供します。最終選考会では、プレゼンテーション審査により各賞を選定いたします。

応募受付	2025年8月中旬～9月30日（火）正午迄の期間で応募を受け付けます
1次選考	<ul style="list-style-type: none"> • 1次選考は書類審査で行われます。必要に応じて、応募者への問い合わせが行われる場合があります • 選考結果は10月初旬頃（予定）にご連絡いたします
合同ワークショップ・意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> • 2025年10月～2026年4月の期間内でNEDO Challengeと合同で複数回開催を予定しています • 初回のキックオフミーティングは10/24(木)に開催予定です
最終選考	<ul style="list-style-type: none"> • 2026年5～6月頃にオンラインにて、プレゼンテーション形式による最終選考会を開催いたします • 協賛企業等の審査員による審査項目に基づいた協議の上、決定いたします
表彰	2026年7月15日（水）にシティホール&ギャラリー五反田にて表彰を行います

5 審査について

1次選考、最終選考いずれも下記の審査項目に基づき、審査を行います。

審査項目	審査の内容
事業スコープの妥当性	募集したテーマに基づき、宇宙という素材を活用した事業を創出できる内容であるか ・「稼ぐ力」や「強靱な食料システム」等、応募するテーマを的確に捉えているか ・協賛企業サービスとのシナジーが得られるか、など
事業の実現性・収益性	事業仮説が立てられており、投融資対象としての可能性があり将来的に収益が見込まれる内容であるか ・事業における顧客や付加価値、収益モデル等が想定・提示されているか ・類似するサービスとの差別化などが提示できているか ・事業化に向けたスケジュールやマイルストーンが提示されているか ・技術的な課題及び対応方針が認識されているか、など
事業の技術の妥当性	提案されたアイデアに利用もしくは開発するシステムについて衛星データの利用に関する技術は実現可能なレベルにあるか ・衛星データを利用した開発や事業を進めるための技術シーズを有しているか、技術シーズを創出できる見込みがあるか、など
アイデアの革新性	これまでにない革新性のあるアイデアであるか
実用化による社会発展性	提案されたアイデアは拡張性や将来性が大きく見込めるものであるか ・実用化に向けたスケジュールとプロセスが示されているか ・実用化に向けた想定ユーザー、ステークホルダー、市場ニーズや付加価値等が示されているか ・実用化による社会インパクトは十分に大きいのか、など

6 授賞

授賞式では以下の通り授賞を行います。

【協賛企業テーマまたは共通テーマから1つ】

- ・ 農林中央金庫賞 300万円

【協賛企業テーマまたは共通テーマから1つ】

- ・ 審査委員特別賞 10万円

7 その他の留意事項

● 応募された提案に関する知的財産権

- 応募提案に関する著作権その他の知的財産権は応募者に帰属します。
- 応募提案は、第三者の著作権その他の知的財産権を侵害していないものに限り、万一、応募提案が第三者の権利を侵害している場合又は侵害するおそれがあると実行委員会が判断した場合（応募後に侵害となった場合を含みます）、授賞後でも受賞を取り消すことがあります。

● 応募された提案の要約の取り扱い

- 応募フォームに書かれた情報や最終選考会でのファイナリストの様子等は、主催者が広報のために雑誌、書籍、ウェブサイト、メールマガジン等の各種媒体で発表又は利用する場合がありますことご了承願います。これに伴い応募者が書かれた情報を要約、翻訳等一部変更することがあります。

● 最終選考会後の経過報告

- 最終選考会出場者には、受賞有無にかかわらず、その後の経過をヒアリングさせていただく場合があります。

● 個人情報の取扱い

1. 個人情報の利用目的

衛星データ活用アワード2025-2026実行委員会及びその事務局（以下、「運営者」と言います。）は、衛星データ活用アワード2025-2026の応募により取得した個人情報を、以下の目的で利用し、応募者の同意がある場合を除き、その他の目的に利用することはありません。

- ① 衛星データ活用アワード2025-2026の運営
- ② 応募者への連絡（登録情報に関する確認、問い合わせ、選考結果通知など）
- ③ 選考結果や受賞の公表
- ④ 応募者への取材
- ⑤ NEDO Challenge, Satellite Data -農林水産業を衛星データでアップデート！-に関する情報提供
- ⑥ 情報取得時に別途通知または明示した利用目的
- ⑦ その他、上記に関連する目的

2. 個人情報の第三者への提供

運営者は、原則として、あらかじめ応募者の同意なく取得した個人情報を第三者に提供いたしません。

3. 個人情報処理の委託

運営者は、個人情報を取り扱う業務の一部を、運営者と機密保持に関する覚書を取り交わした企業等に外部委託することがあります。

【個人情報の取り扱いに関する問い合わせ先】

運営者の個人情報保護方針あるいは運営者保有の個人情報に関するお問合せ等は、下記までご連絡ください。

衛星データ活用アワード2025-2026実行委員会（事務局：宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合）

E-mail: satellite_data_award_2025@ssil.jp

<注意事項>

- 選考に関する個別のお問合せにはお答えできません。
- 最新スケジュールは、公式サイト等でお知らせします。
- 会場開催にあたって、交通費は支給致しません。
- オンライン開催の際のオンライン環境は各自でご用意ください。

以上